

えんだよい

2022年
3月号



NO. 192
シャローム三育保育園

新型コロナの感染拡大がいつ終わるか期待し続けて、また1年が経ってしまいました。この険しい大渦の中でも、現状を受け入れ成長している姿と笑顔に私たちも励まされてきました。こどもの力を信じて、人の力を信じて、みんなの絆でまた新しい門出を迎えたいと思います。

園長 村上 涉



避難訓練の様子も配信いたしますのでご覧ください。



今月の予定



日	月	火	水	木	金	土
		1 体操教室	2	3 英語教室 (3.4.5 歳児)	4	5 卒園パーティ (5 歳児)
6	7 礼拝 くま組さんとの お別れ会(乳児)	8 体操教室	9 誕生会 くま組さんとの お別れ会(幼児)	10 英語教室 (3.4.5 歳児) 避難訓練	11	12 新入園児説明会
13	14 礼拝	15	16	17 卒園式	18	19
20	21 春分の日	22	23	24 英語教室 (2.3.4 歳児)	25 保育園職員会	26 布団乾燥
27	28 礼拝	29	30	31 進級式		

「縁」

3月は出会いと別れの季節です。保育園でも卒園がありますし、新年度の入園児も決まりました。くま組のおともだちも卒園すると7つの小学校にそれぞれ進学する事になっています。毎日遊んだお友達と別々の学校に行くことは、ちょっと寂しいかもしれませんが、小学校でも新しい出会いがたくさん待っているでしょう。保育園生活での楽しい思い出が新生活へ繋がる事を願っています。

私自身は季節保育所といって、農家が多い地域で農繁期だけ開所する保育所に4歳くらいから行った記憶があります。保育所には一人で路線バスに乗っていきます。運転手さんが乗り降りの面倒をみてくれました。田舎ならではのね。私はお昼寝が嫌いだったのと同じ年のガキ大将がいたので保育所に行くのが嫌で、時々バスに乗る直前で駄々をこねてご迷惑を掛けたこと覚えています。この事は大人になってからも良く母の思い出話に出てきました。そのガキ大将とは小学校で同級生になりましたが学校ではとても仲の良い友だちになりました。

くま組保育室の壁に卒園式で歌う歌詞が貼ってあります。しみじみと読んでみると、さまざまな場面が思い出され胸が熱くなります。ご縁があってこの保育園で子どもたちや保護者の皆さまに出逢えたことは私たちの大切な財産です。卒園・退園するおともだちとはちょっと寂しい思いをしますが、これから



もご縁が続き一回りも二回りも成長した子どもたちの姿を見るのを今から楽しみにしています。在園児の子どもたちも新しいクラスでもっともっと楽しい経験や思い出ができるように、私たちも子どもたち、ご家族の皆さまと一緒に頑張っていきたいと思います。これからも日々成長していく子どもたちの未来のために、ご家族の皆さまのご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

園長